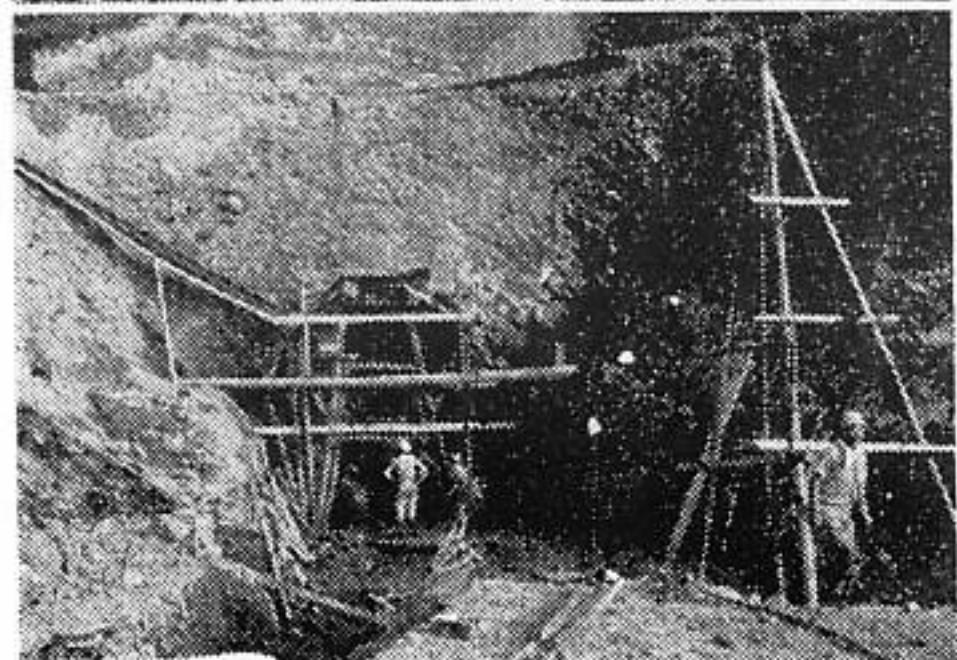
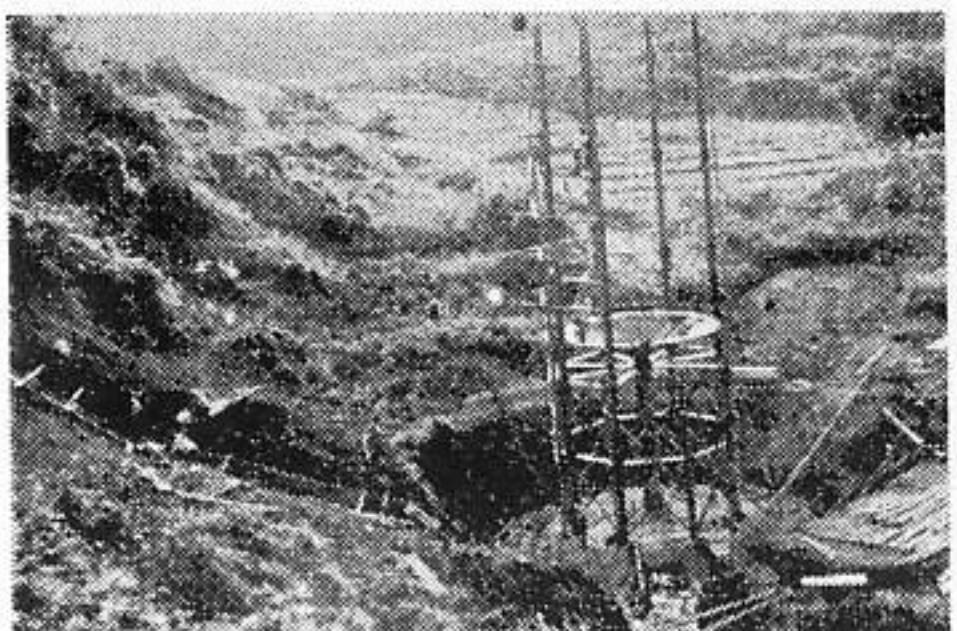


東由利村報

No. 58 36・9・20
発行所 秋田県東由利村役場
印刷所 株式会社 本間印刷所

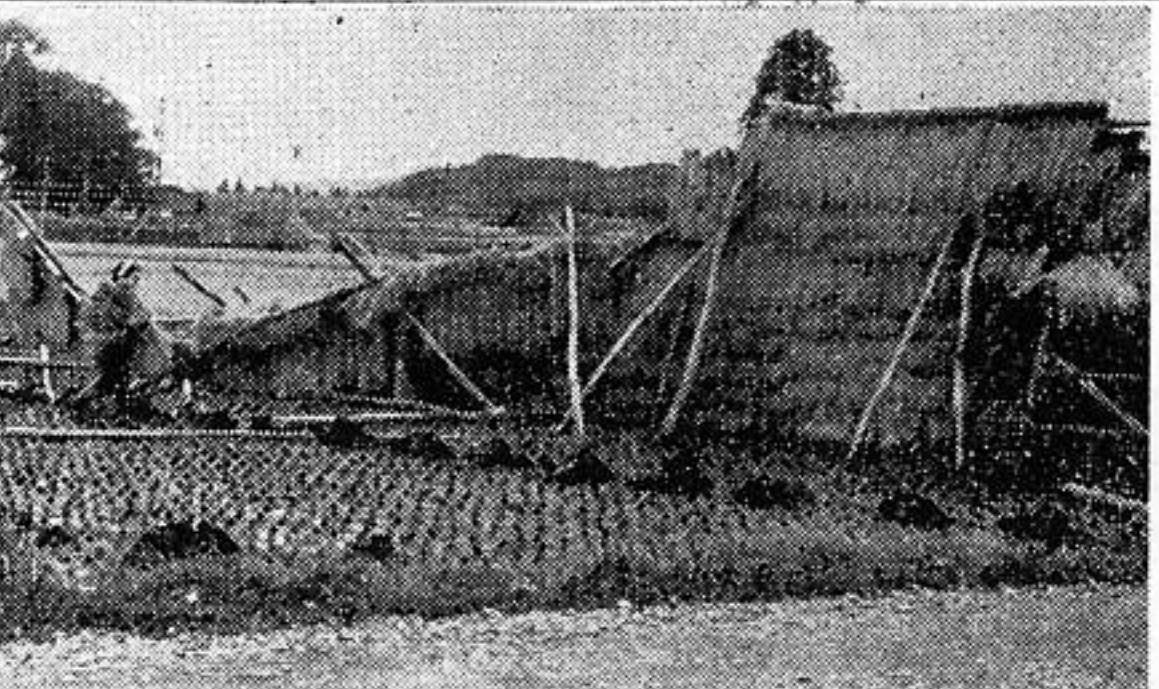
紙面案内

- 2面 台風被災のお見舞い、県畜産共進会の成績
- 3面 第2回作況調査報告、自主納税にきりかえ
- 4面 国体旗本村入り迫る、国民年金3ツの実例、朴の木沢放牧場完成



八塙ダム工事・スケッチ

八塙ダム建設現場は、いま温水取入装置と余水吐工事がたけなわである。この温水取入装置は一基だけで一千円もするといふもので、全国でも例が少なく五番目のものといわれている。【写真（上）は温水取入装置（下）は余水吐の工事状況＝長沢毅氏提供】



住吉小に給食場設置

選挙管理委員に4氏決る

第五回村議会臨時会は八月三十一日役場に招集された。

▽専決処分の承認（一般会計予算追加）

提出された案件は村一般会計追加更正予算など七件で全部原案可決、ほかに選挙管理委員の選挙があり新たに四氏が選任された。



第5回臨時村議会

選挙管理委員に4氏決る

第五回村議会臨時会は八月三十一日役場に招集された。

▽専決処分の承認（一般会計予

主な提出議案は次のとおりである。

村では18号台風による一般、公共の災害対策を協議するため九月十八日緊急村議会を招集、藏学校などの現地調査なども行なつた。

台風災害対策のため

18日・緊急村議会

阿部重三郎（50歳・蔵）
小笠原武一（62歳・土場沢）
長谷山喜一郎（46歳・老方）
工藤武雄（43歳・山崎）

九月十六日夜半に襲つたマンモス台風18号は本村にも甚大な被害を与えた。幸いにも人畜には災害がなかつたが一般住家、非住家、公共建物、農作物など全体の損害は推定二五〇〇万円にのぼり、未増有の被害である。

住家、非住家の全壊五棟、半壊二七棟、屋根破損一五七棟で損害額六四〇万円、公共建物の被害は蔵小・老方小・玉米小が大きく、とくに蔵小学校では授業が不可能となり復旧まで当分休みを余ぎなくされたほどでこれらの損害一四三万円、また農業

写真（上）は倒伏した稲架、まずは大部分の稲架がこのようないきなり倒伏した。勘定にならない被害をこうむつた。（下）は大破した蔵小学校、旧校舎部分の被害が大きく、二階は屋根も天井もなく青空教室と化した。

うち追加になつた主なものは住吉小学校給食場設置費一五五万円、エボ石・滝ノ上牧道開設補助金各三万円、笹倉林道一号・二号橋工事費一七万円、坪倉林道開設費三三万円などである。

▽玉米財産区有財産の処分①玉米財産区有の館合字小松沢口及び小松沢地内の赤松立木一四五本を村に対して寄附、村では山崎・久保・五海保の三部落で新設する牧道（五四二M）の財源に充てるようこれを無償譲渡する。

▽選挙管理委員の選挙選挙管理委員の任期満了によりこれを選挙する。

結果は次の四氏が新らに選任された

【委員】

損害額一、五〇〇万円にのぼる

〃通り魔〃18号台風の爪跡

被害では稲の倒伏脱粒八〇〇ヘクタール、畑作物六〇ヘクタール、果樹一・一ヘクタールで損

害額は実に一七六〇万円、これ

で豊作の夢リも根本から吹き飛ばされてしまつた。

これらの被害状況は現地調査に

害額は実に一七六〇万円、これ

で豊作の夢リも根本から吹き

飛ばされてしまつた。

被害では稲の倒伏脱粒八〇〇ヘクタール、畑作物六〇ヘクタール、果樹一・一ヘクタールで損

害額は実に一七六〇万円、これ

で豊作の夢リも根本から吹き

飛ばされてしまつた。

これらの被害状況は現地調査に

害額は実に一七六〇万円、これ

で豊作の夢リも根本から吹き

飛ばされてしまつた。

被害では稲の倒伏脱粒八〇〇ヘクタール、畑作物六〇ヘクタール、果樹一・一ヘクタールで損

台風被災のお見舞申上ます

この度の18号台風により災害をこうむられた村民各位に心からお見舞申し上げます。『新農村建設』の旗じるしのもと、村ならびに村民が一体となつて着々基盤づくりに励んでおり、根底よりくつ返されたようなこの不慮の災害は、まつたく痛恨に耐えません。村としては災害の復旧に万全の処置をとるべき対策を急いでおりますし、各位におかれてもこの打撃に屈つすることなく、一日も早く倍旧に復されますようご精進あらんことをお祈り申しあげます。

村長 阿部直一郎

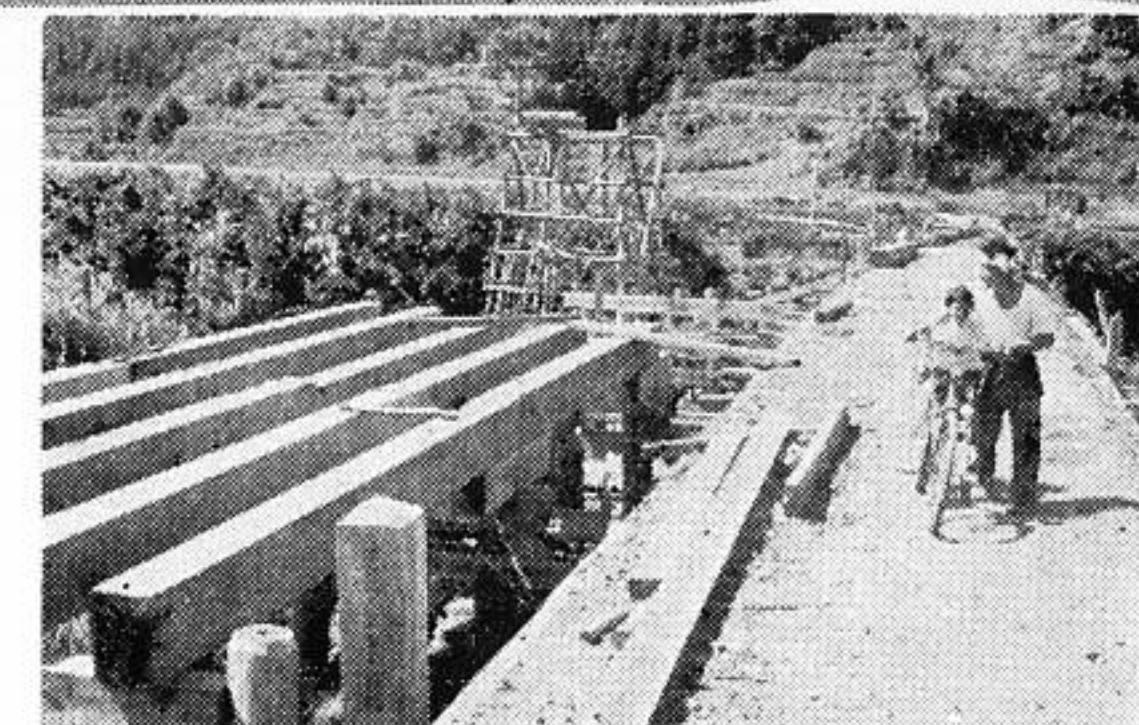
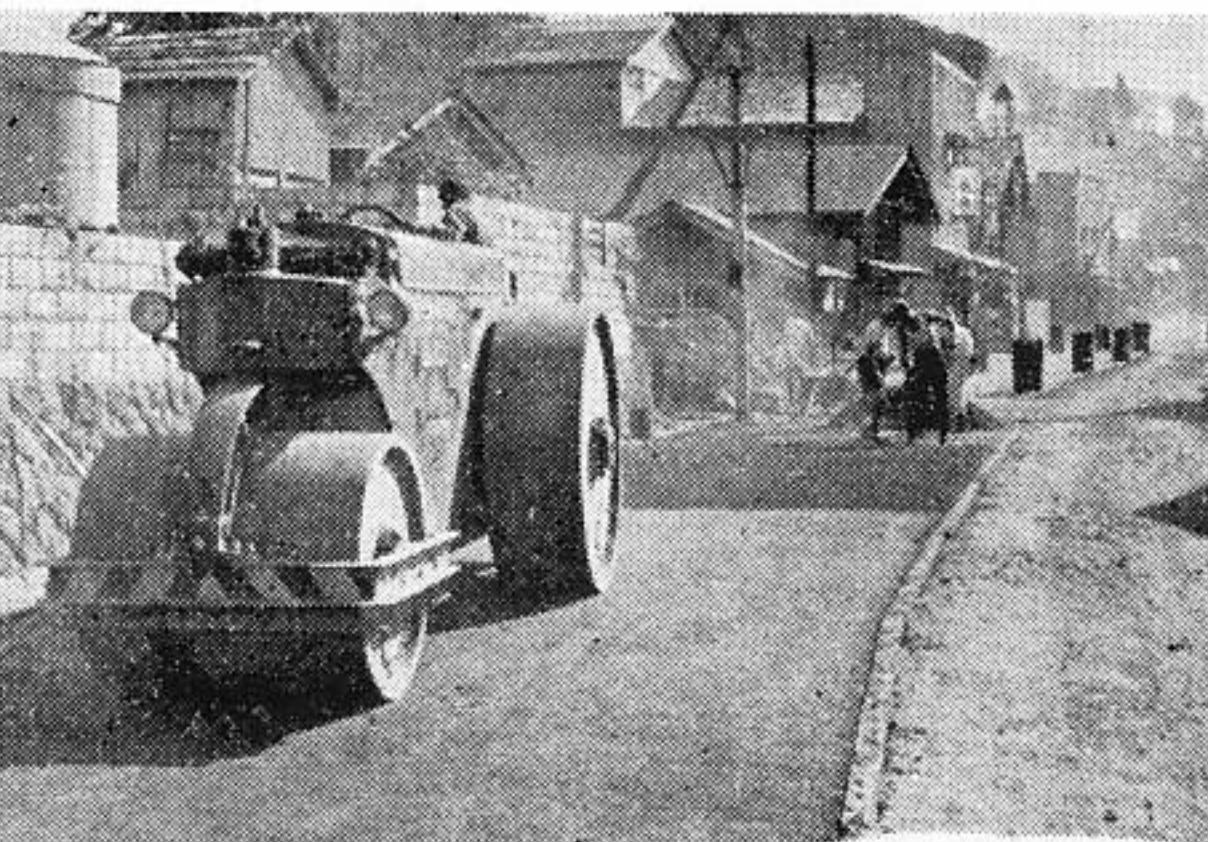
選挙管理委員長に

小笠原氏

新委員による選挙管理委員会の初会議は九月五日役場で開かれた。

はじめ委員長の選挙が行われ、結果は小笠原武一氏が選ばれた。その他選挙資格の調査方法はあらかじめ委員会が作成した「選挙権調査票」を各部落長が調査点検する方法をとる。また本年度に確定すべき基本選挙人名簿の調製現在日は九月十五日とすることなどを決めた。

営林署の手で着手された丸山橋の架替



ほ装化すすむ大琴地区国道

ジャージー種では最優等賞

県畜共の本村関係の成績

く発揮した。

◎第一部種馬

二等賞(県知事賞、県畜産

指導農協連合会賞) 第三武

姫・武田繁政

◎第二部乳用種牛ジャージー

合会賞) 春昇・小松龟之助

優等賞(県知事賞、県畜産

指導農協連合会賞) 第三武

長賞、中央畜産会賞、日本ジ

ヤージー登録協会賞、日本

家畜人工授精師協会賞、ニ

ュージランドロオンKK賞

雪印乳業KK賞、県畜産会賞、

協連合会賞、明治乳業KK

賞、県畜商協賞秋田共同乳

業KK賞、東北水産理化学研

究所賞、白石カルシウム興業

KK賞、秋田中央薬品KK賞

マツダバイ・大庭喜右エ門

一等賞(県知事賞、県畜産指

導農協連合会賞、雪印乳業K



8月22日・慰靈祭執行

なお次回は十一月に開設される。

秋田県畜産指導農協連合会主催の第五十一回県畜産共進会は九月九日から十一日まで本荘市大泉寺山、由利畜産農協構内で開かれたが、本村関係では次のとおりジャージー種の部優等賞をはじめ大部分が上位入賞、『畜産・東由利』の面目をいかんな

本村の戦死没者二八〇余柱の慰靈祭は八月二十二日、藏立寺で厳かに執行された。戦後月日はめぐりめぐつて十六年を数えたが、遺族に残された傷痕はいつたい、いついえるだろうか。【写真は藏立寺境内に建立された戦死没者の慰靈塔】

◆第二部役肉用種牛(黒毛和種)
一等賞(県知事賞、全国畜産農協連合会賞、羽後銀行賞)みやひめ・菊地啓吉
三等賞(県畜産指導農協連合会賞)なつみどり・阿部喜一
【写真はジャージー種で優等賞に輝いたマツダバイ】

K賞、東北水産理化学研究所賞、白石カルシウム興業KK賞、羽後銀行賞)ミツタウエルライラックベツス・伊東庄一郎
二等賞(県知事賞、県畜産指導農協連合会賞)東北水産理化研究所賞、白石カルシウム興業KK賞)アスタテル・佐藤雄一

価格はめずの総売上高一〇五万九三〇〇円、最高六万五四〇〇円、最低三万六〇〇〇円で平均四万八一〇〇円、おすの総売上高一四七万八〇〇円、最高四万四〇〇円、最低三万五〇〇円、めずおすの総平均三万九五〇〇円、めずの総平均三万九五〇〇円という成績であった。

価格はめずの総売上高一〇五万九三〇〇円、最高六万五四〇〇円、最低三万六〇〇〇円で平均四万八一〇〇円、最高四万四〇〇円、最低三万五〇〇円、めずおすの総平均三万九五〇〇円、めずの総平均三万九五〇〇円という成績であった。

いぜん高値を持続
9月家畜市場成績

九月定期家畜市場は二日台山馬検場で開設された。

出場頭数は和牛めす二二頭、おす四二頭とこれまでにない盛況で価格もいぜん高値を持続して注目された。

作況指數 98

山間地は技術的に進歩

第2回作況調査の報告から



本村の水稻作況第二回調査は九月十二日、遠藤徳太郎・佐々木宇一郎・岳石伊左武郎・小野作右工門・長谷山久一の五氏によつて行われた。この報告によると、第一回調査を行つた当時、悪天候とチツ素過多などにより全般に成育が軟弱をきわめて倒伏や病害虫発生の危険が多かつたが、その後天候にも恵まれ、薬剤撒布と水管理の徹底など全体の努力が実を結んで当初の予想よりはるかにもちなおしている。

今年の作況がどうやらこれまで半の天候が順調だつたことはいふまでもなく、かん排水など管理をよくして「できすぎ」を最少限にとどめ、葉いもち病を完全に克服できたことが大きい。ただし「葉いもち病」の防除

はまだ技術的に研究の余地がある。ひじょうに薬害が多くみられたのはこの欠かんの現れで葉いもちと同じペーセントの薬剤を用いたこと（この場合撒布機の選択にも注意がいる。手廻しをさけ、動力撒布機を用いるべきである）、また撒布の時期を見きわめることも大切で出穂直前の使用が必要である。

ほかに十和田・オートリなどは葉いもちに強いという性質に頼つて首いもちの警かいを怠つた例も見うけられる。防除技術は注意すべきである。防除技術

がまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要があるようだ。除草剤は関心がもたれ、よく研究して使用されているようだが、使用の時期おくれがみられ、結果としておくれ穂がみられた。早性で六月二十五と三十日、晚性で七月十日までのうちに使用すべきである。

今年をふり返つて今後に残された問題としては①品種選定と施肥設計②病害虫対策③地力低下が上げられる。推奨できる品種としてはサワニシキ・奥羽二三七号・オートリ・ミヨシなどでどしどし取り入れてよい。施肥設計の問題としては

本村でもこの県の方針にのつて自主納税にきりかえることになつたが、これは滞納していてもそのままにしておいて、年を上廻るとは断定できない。本村の場合昨年なみで上々といふところに一致しており、ちなみに昨年の作況指数を一〇〇とするとき、今年は九八といふところで、ますますといった結論である。

県では滞納している人々の督促のため自宅までおもむくと、いふことは取扱い上公平なサービスとならない、あくまでも指定された場所で納期内に納めていただくというたてまえにきりかえた。本村でもこの県の方針にのつて自主納税にきりかえることになつたが、これは滞納していてもそのままにしておいて、年を上廻るとは断定できない。本村の場合昨年なみで上々といふところに一致しており、ちなみに昨年の作況指数を一〇〇とするとき、今年は九八といふところで、ますますといった結論である。

はまだ技術的に研究の余地がある。ひじょうに薬害が多くみられたのはこの欠かんの現れで葉いもちと同じペーセントの薬剤を用いたこと（この場合撒布機の選択にも注意がいる。手廻しをさけ、動力撒布機を用いるべきである）、また撒布の時期を見きわめることも大切で出穂直前の使用が必要である。

がまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要があるようだ。除草剤は関心がもたれ、よく研究して使用されているようだが、使用の時期おくれがみられ、結果としておくれ穂がみられた。早性で六月二十五と三十日、晚性で七月十日までのうちに使用すべきである。

今年をふり返つて今後に残された問題としては①品種選定と施肥設計②病害虫対策③地力低下が上げられる。推奨できる品種としてはサワニシキ・奥羽二三七号・オートリ・ミヨシなどでどしどし取り入れてよい。施肥設計の問題としては

は例えば十和

田など耐病性

が強く多収と

いう性質に依

存して度を越

した施肥が現

因で病害など

減収という結

果にもなるの

でこの点など

留意すべきで

ある。また乳

牛を飼育して

地力向上の効

果があつてよ

効てよいもの

が、それがで

ていない。

一考を要する

ことによるものではない。法に基いて処分を行うことには変化がなく、むしろこれを直ちに行うことになる。

は特筆してよ

ること示してい

い。

総体と

して今

年の作

況状況

は調査

した範

囲にお

いて昨

年を上

廻ると

は断定

できな

い。

本村の場合は

年を上

廻ると

は断定

できな

い。

本村でもこの県の方針にのつて自主納税にきりかえることになつたが、これは滞納していてもそのままにしておいて、年を上廻るとは断定できない。本村の場合昨年なみで上々といふところに一致しており、ちなみに昨年の作況指数を一〇〇とするとき、今年は九八といふところで、ますますといった結論である。

はまだ技術的に研究の余地がある。ひじょうに薬害が多くみられたのはこの欠かんの現れで葉いもちと同じペーセントの薬剤を用いたこと（この場合撒布機の選択にも注意がいる。手廻しをさけ、動力撒布機を用いるべきである）、また撒布の時期を見きわめることも大切で出穂直前の使用が必要である。

がまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要があるようだ。

除草剤は関心がもたれ、よく研究して使用されているようだが、使用の時期おくれがみられ、結果としておくれ穂がみられた。早性で六月二十五と三十日、晚性で七月十日までのうちに使用すべきである。

今年をふり返つて今後に残された問題としては①品種選定と施肥設計②病害虫対策③地力低下が上げられる。推奨できる品種としてはサワニシキ・奥羽二三七号・オートリ・ミヨシなどでどしどし取り入れてよい。施肥設計の問題としては

はまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要があるようだ。

除草剤は関心がもたれ、よく研究して使用されているようだが、使用の時期おくれがみられ、結果としておくれ穂がみられた。早性で六月二十五と三十日、晚性で七月十日までのうちに使用すべきである。

がまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要があるようだ。

除草剤は関心がもたれ、よく研究して使用されているようだが、使用の時期おくれがみられ、結果としておくれ穂がみられた。早性で六月二十五と三十日、晚性で七月十日までのうちに使用すべきである。

がまだ普及していないので、防除所あるいは村当局で対策をたてる必要

国民年金

明
暗
3
つ
の
実
例

わずか3カ月分の納付を怠つたため、年金を貰 い損つた、祝沢部落のある被保険者の例

8月祝沢のある夫が死亡しました。あとには39才の妻と10才の子が残されました。この場合、夫が死亡した日以前の、いちばん近い基準月(7月)の前月(6月)まで、妻が保険料をとどおりなく納めていれば、妻は母子福祉年金を貰えたのです(年額12,000円)。が、残念にもその保険料が納つていなかつたため(金額にして4月から6月までの3カ月分 450円)せつかくの権利を自からの手でフイにした結果となつてしましました。

保険料が納まつたため、年金が貰える、袖山

部落のある被保険者の例

8月袖山のある被保険者が死亡しました。あとには44才の妻と11才の子が残されました。しかしこの人は、それまでの保険料をしつかり納めていたので妻は母子福祉年金が支給されます。

保険料を納めることができなかつたが、保険料免除が承認さ れていたため、年金が貰える大吹川部落の被保険者の例

大吹川部落のある被保険者が死亡しました。あとには36才の妻と13才と14才の2人の子が残されました。この人の場合保険料は納めていないが、保険料免除申請をし、承認されているので、母子福祉年金が支給されます。

以上3つの実例が教えるもの

国民年金の保険料は、その月々必ず納めるよう心がけてください。もし生活に困つていてどうしても納められないときには、役場で免除申請の手続きをとつてもらうことです。(このどちらかであれば、万一の場合保障されます。が、滞納だけは救いようがないので注意してください)

国民年金の保険料納付がはじまってから半年を経過した。保険料が納まつていたか否かで年金を貰えたり貰い損つたり、思わぬ事故が明暗をえがきだす。つぎはこの半年間の明暗の実例である。国民年金を理解する一つの材料にしていただきたい。



前年の国体開催地
熊本県を出発して
裏日本を縦断、こ

24・25日 みんなで歓迎を

の二十二日本県に入る国体旗は
二十四・二十五両日にわたつて
本村を通過する。

若さと力のシンボル国体旗を棒
持する光栄の若人一四〇余名の
隊員編成もすでに終つた。コ
ース及び中継予定時間は別掲
のとおりであるが、沿道全戸の
人々の歓迎と激励、と同時に各

国体旗リレーコース

(16.10)	(16.20)	(16.35)
24日 — 羽後町軽井沢 — 向田 — 地下の沢 —		
(16.52)	(17.09)	(17.22)
高戸屋 — 館合 — 老方「当日一泊」		
(8.10)	(8.23)	(8.30) 自動車利用 (8.39)
25日 — 老方 — 館合 — 久保 板戸		

(注) カッコ内数字は中継予定時間



戸の国旗掲揚をとくにお願い
している。

各地で敬老会



九月十五日の「としよりの日」

今年七十歳以上のおとしよりは
全村で一八八名、子どもたちの
演芸やごちそうのもてなしで、
文字どおり「命の洗濯」のよう
な楽しい一日をそれぞれおくれ
られた。【写真は敬老会】

初の老人コンテストで
五人表彰
本村初めての老人コンテストが
七十歳のおとしよりを対象にし
て行われ、次の五人の方が入賞
それぞれ敬老会当日、村長より
表彰された。

小 鈴 佐 藤	太 田 藏 治	吉 郎 (老方)
野 松 木 ミ ョ (沼)	直 次 (宿)	ウミノ (老方)

朴の木沢放牧場も完成
また一つ酪農施設が充実
長根谷地放牧場に次いでこのほど朴の木沢(ほのきざわ)放牧場も完成した。面積は一二ヘクタールで内部設備はまったく長根谷地とならない。さつそく放牧も開始されたが、これで懸案の酪農施設がまた一つ充実したことになる。

【写真は天高く、草原を行くジャージー牛】

を中心に本村の敬老会は各分館
地域毎に開催された。